

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳及びやり投の場合は12mm以下とする。
- 2) 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内にはむやみに立ち入らないこと。また、集団応援はサイド、およびバックスタンドのみ認める。
- 3) 許可を得ていないカメラやビデオによる撮影を禁止する。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部内受付へ申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録時に配布したもの2枚を胸部と背部に確実につけること。ただし、跳躍競技の場合はどちらか一方でもよい。
- 2)トラック競技の場合は招集所で配布される腰ナンバーカードをつける。また、レース終了後フィニッシュ付近で係員に返却すること。
- 3) 男女10000mWは、招集時に配布するナンバーカードを胸につけること。

4. 招集について

- 1) 競技者招集所は、メインスタンド北側器具庫前(100mスタート付近)に設ける。
- 2) 招集時間はタイムテーブルの通りとする。
- 3) 代理人による最終点呼は認めない。
- 4) 招集時間が他の種目と重なる場合、事前に主催者側が用意の重複届を競技者係に提出すること。
- 5) リレーオーダー用紙は主催者が用意し、事前に配布したものを使用する。リレー種目に出場するチームはオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(大会本部に用意)に記入して競技者係に提出すること。(メンバーについては競技規則第170条を参照のこと。オーダー用紙の提出は、第1組目の招集開始1時間前までに競技者係に提出すること。
- 6) 招集完了時間に少しでも遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので十分注意すること。

5. 棄権について

- 1) 当日やむなく棄権する場合は、棄権届(大会本部に用意)に必要な事項を記入し、捺印(サインでも可)したものを招集所に提出すること。
- 2) 棄権届を提出せずに棄権した場合は、今後の大会等にペナルティを与える場合がある。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものを使用することができるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。なお、検定を受けて許可を得た投てき物は、主催者借り上げの共有物とする。検定は、招集開始60分前から招集開始時刻まで招集所にて行う。

7. ウォームアップについて

開門から競技開始20分前まではトラックを全面使用できる。ただし、競技の準備に支障の出ないように行うこと。また、場内放送や競技役員員の指示があった場合は、それに従うこと。

8. 競技について

1) トラック競技の時計は、すべて電気計時(1/100秒)を用いて行う。

2) 以下の種目については、スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技日程に支障が出ると判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。

・男子10000mW…スタート後53分、女子10000mW…スタート後58分

・男子10000m…スタート後37分、女子10000m…スタート後42分

3) 跳躍競技(高さで順位を決定する競技)のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男子走高跳1組	1m60/1m80	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後3cm
男子走高跳2組	1m85/2m00	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	2m13	2m16	以後3cm
女子走高跳	1m40/1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	以後2cm
男子棒高跳	4m00/4m50/5m00	4m00	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	以後10cm
女子棒高跳	2m80/3m00/3m30	2m80	3m00	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	以後10cm

※1. 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

※2. 第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

※3. 天候等に応じて審判長の判断で開始の高さを変更する場合がある。また、天候に応じて上記のバーの上げ方を該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

4) 三段跳について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。※三段跳の踏切位置は該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

5) 走幅跳について

男子走幅跳は、スタンド側をAピットとし、トラック側をBピットとする。

6) 走高跳について

メインスタンド側をAピットとし、バックスタンド側をBピットとする。

7) 投てき種目について

投てき種目は競技時間短縮のため、3回目までの試技終了後、最も記録の良い試技のみを計測する。4回目以降も同様に、6回目までの試技終了後、最も良い試技を計測する。

8) 長距離種目の周回数の記録について

男子10000m及び男女5000mは各大学が出走者数に応じて1~4名まで派遣すること。

9. 給水について

5000m、10000mおよび競歩については天候に応じて水とスポンジを用意し、バックストレート側に給水所を設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

10. 表彰について

1) 表彰は1位から3位までの入賞者について行う。該当者は成績発表後、受賞者集合場所に待機し、表彰係の指示に従うこと。

- 2) 表彰式の際の服装は、公式 T シャツあるいはジャージを着用する。下は公式ジャージを着用する。
- 3) 閉会式において、1年生の出場者の中から男女若干名につき新人賞の発表、及び表彰を行う。

1 1. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、規則第146条に基づきその競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次ラウンドのある場合は15分以内）に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は抗議申立書と委託金10,000円を添えて上訴する。この委託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

1 2. 緊急看護について

競技中の事故やケガについては医務室において応急処置を行うが、その後の治療は本人の負担とし、事故の結果について、本連盟は一切責任を負わないものとする。

1 3. その他

1) 公開トレーナーについて

本大会では、トレーナーが競技者のコンディショニングと応急処置を行う。出場者は誰でも利用することができる。

2) 競技会において競技者は携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内へ持ち込んではいない。

以上の事柄および本大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合があるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。